

第 61 回 入学式の風景

令和 5 年 4 月掲載

令和 5 年度入学生を迎え、4 月 6 日（木）本校体育館にて入学式が執り行われました。桜の花は散ってしまい葉桜の時期となり、校内の景色は華やかさがなく、朝から小雨が降る状況でしたが、式が始まる頃には明るい日差しが差し込んできたことは、幸運でした。また、生徒・職員が行った飾花によって式の雰囲気華やかさを演出してくれました。

新入生 173 名は緊張の面持ちでしたが、担任の先生の呼名に対してはしっかりした返事をして起立してくれました。その後校長からは、入学許可、そして校長の言葉と続きました。

校長からは、入学生を植物に置き換えての例え話をしました。「本日入学式の瞬間が、皆さんにとって中央農業という畑の土から芽が出た状態です。これから太陽の日差しを浴びて、栄養と水を吸収しすくすくと成長していくことでしょう。しかし、時に太陽の強烈な日差しによって厳しい暑さとなったり、雨が降らず乾燥するなど困難な状況となることもあります。はじめ小さな芽であっても生命体の強さを信じ、中央農業という畑の涵養力でこの試練を乗り越えて、やがては美しい花を咲かせることでしょう。私たち教職員は畑の中の有益な微生物や益虫として皆さんを支援していきます。

3 年後入学生の皆さんがそれぞれ個性的で素敵な花を咲かせ、卒業を迎えてほしいと願っています。さらに社会に出てからは成熟して、稔りを迎え次世代に継承するための種を結実することを望みます。」との式辞でした。

